



◆ブログ記事のリライトについて◆

1. titleタグや見出しタグ（hタグ）などを見直す

タイトルや見出しは、SEOにとっては影響の大きな要素です。まずはこれらの重要な要素から見直してみましょう。

しっかりと伝えたい内容が端的に説明されているか？
ユーザーがクリックしたくなるようなタイトルか確認してみましょう？

キャッチーなタイトル、
キャッチーな見出しかどうか？

2. ブログ本文を見直す

指定されたSEOキーワードに沿った内容で深堀されているか？
キーワードで深堀せずに、記事の内容が広がっていないか？

ターゲット像を意識した内容か？

本文はしっかり意味が通っているか、言い回しがおかしくないかを確認します。Googleの検索エンジンは文脈の評価もできるようになってきているようです。

文字ばかりで読みにくい場合は、適宜、**画像を入れる**などして読者ファーストを意識して読みやすさを考慮しましょう。

数値データも同様で、例えば**料金などは全て表**にして見やすさを考えたリライトを行いましょう。

また、本文自体の構成を組み替えて、読みやすさを追求してみるのも一つの方法です。

3. 競合サイトと比較する

マニュアルで説明している、ライバルチェックの方法で、指定されているSEOキーワードから、キーワード検索を行い、上位表示されているブログと比較してください。

競合・ライバルサイトにはあって、自分に足りない**コンテンツを追加**していくというのも一つの方法です。

ただし、記事をそのままコピーするような行為はNGです。
他サイトを参考にしながらも自分の言葉で、ユーザーに分かりやすい記事を心掛けましょう。

4. 内部リンクの見直し

ブログ内の内部リンクの見直しも重要です。特に、ブログをはじめてすぐは関連ページがないので記事内にリンクを張っていないことがほとんどです。

ブログ記事が50件、100件と増えていくと関連記事も増えていると思うので記事間でのリンクも設置してあげましょう。

サイト内での内部リンクはSEO的にも有効です。

リライトの際は関連記事へのリンクも設置して内部リンクの最適化を行い、サイト内の回遊率をアップさせましょう。

理想的な内部リンクは、全ての記事に**内部リンク**があることです。1個か、2個が理想です。

5. 感情的価値の追加

ライティングマニュアルでは採算必要だと説明しているのが、感情的価値です。

しかし、感情的価値が抜けていてブログのおもしろさが伝わらないと全くおもしろくない記事になってしまいます。

要所要所で感情的価値が不足している場合は、記事内容に合った感情的価値を追加しましょう。

また、独自の目線や感想を入れてみるのも効果的です。

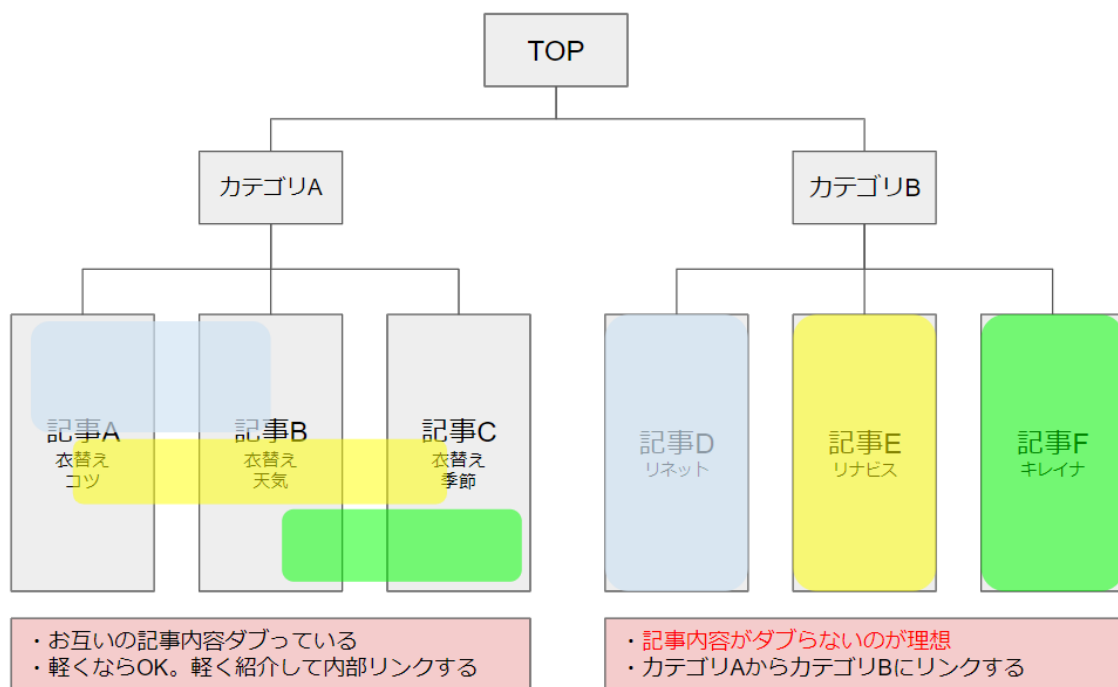
6. 理想的なサイト構成図

カテゴリAでは、キーワードに対して、記事内容（色のついた枠）が重複しているので、SEO的にはマイナスになる。

だから、カテゴリBの記事の様に、出来るだけ記事内容が重複しないように調整する必要がある。

またお互い少しなら記事内容は重複してもよいが、できればお互いに内部リンクを貼ることをイメージさせる。

カテゴリA（共感記事）から、カテゴリB（マネタイズ記事）にリンクを飛ばすようにする。



上記作業の中で、作り直しの直しの記事、キーワードをさらに深掘したロングテールキーワードがあれば、ライター向けのキーワードにどんどん追加していく。